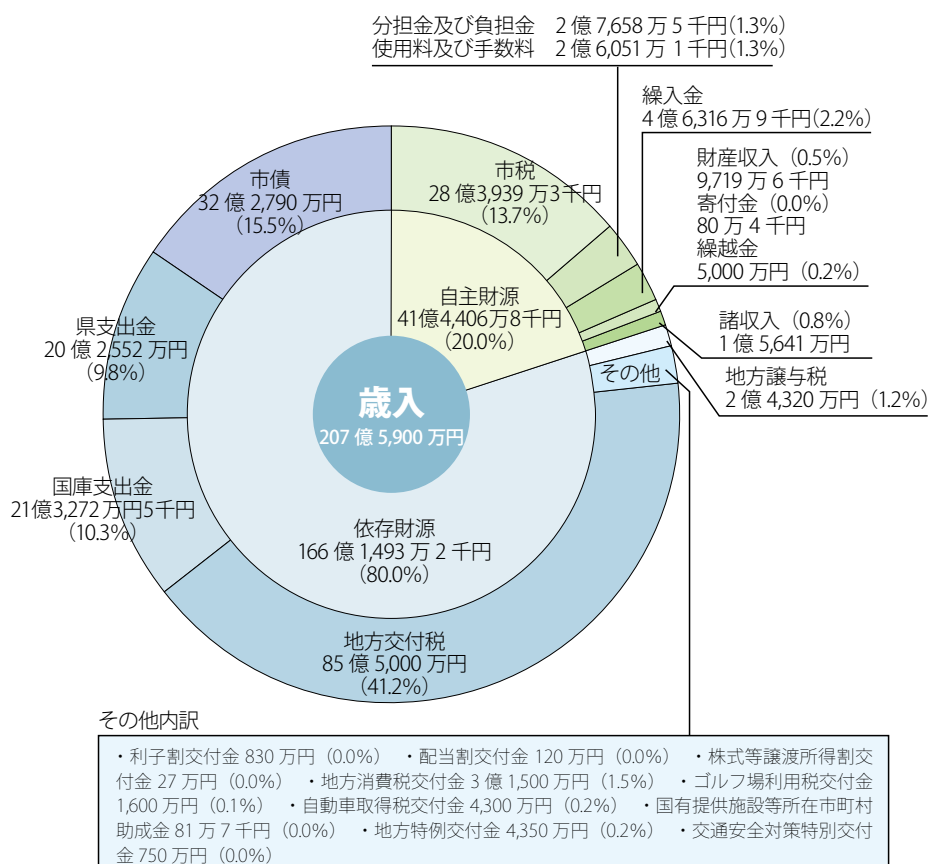


平成
22 年度

予算概要

皆さんが納める税金や国・県からの補助金は、私たちの生活をよりよくするためにさまざまな形で使われています。これらがどのくらい納められ、どのように使われているかを知っていただくために、曾於市の平成 22 年度一般会計当初予算の概要をお知らせします。



歳入関連用語解説

自主財源

市税をはじめ、使用料や手数料など市が自主的に収入する財源

依存財源

地方交付税や国・県支出金など国や県から交付される財源

使用料及び手数料

市の施設を使ったり住民票などの交付に手数料として支払うお金

繰入金

各種基金の取り崩しによって繰り入れられるお金

財産収入

市の持つ財産を貸したり売ったりするお金

分担金・負担金

事業のための受益者分担金、保育所保護者負担金、老人ホーム入所負担金

地方交付税

所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金

市債

市の借金のこと。大きな事業を行うため国や金融機関から借り入れるお金

国庫・県支出金

事業を行うために、国や県から交付されるお金

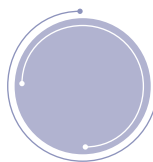
地方譲与税

国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

平成 22 年度当初予算編成は、曾於市総合振興計画に基づきながら「活力に満ち、心豊かでいとも夢と希望のもてる、元氣な曾於市の創造」を目標とし、旧 3 町の均衡ある発展を図るための具体的な五つの柱①健全財政の確立を目指した市政運営②人と自然が共生し地域資源を生かしたまちづくり③個性豊かな人づくり・教育文化のまちづくり④快適で住みよい、住んでみたい・安心して暮らせる安全なまちづくり⑤少子高齢化社会を健やかで共生協働で支え合う福祉のまちづくりの施策の実現に向けて取り組むことを予算編成の基本方針としました。

予算規模は、平成 21 年度当初予算額に対して、8 億 200 万円、4.0% 増の 207 億 590 0 万円となりました。また歳入のうち市税等の自主財源は、41 億 440 6 万 8 千円、20.0%、地方交付税や市債等の依存財源は 166 億 1493 万 2 千円、80.0% となりました。

一方歳出は、人件費が



財政課

☎ 0986-76-8803

歳出関連用語解説

消費的経費

経費の支出の効果が、当該年度又はきわめて短期間で終わる経費

投資的経費

建物、道路等建設に関する経費

公債費

市債返済のためのお金

扶助費

高齢者・障害者等に対する援助費等福祉及び教育支援経費など

普通建設事業費

建物、道路等に関する工事費など

物件費

委託料、使用料、光熱水費、消耗品費、臨時職員の賃金、修繕費など

補助費等

各種団体への負担金・補助金、保険料、謝礼など

繰出金

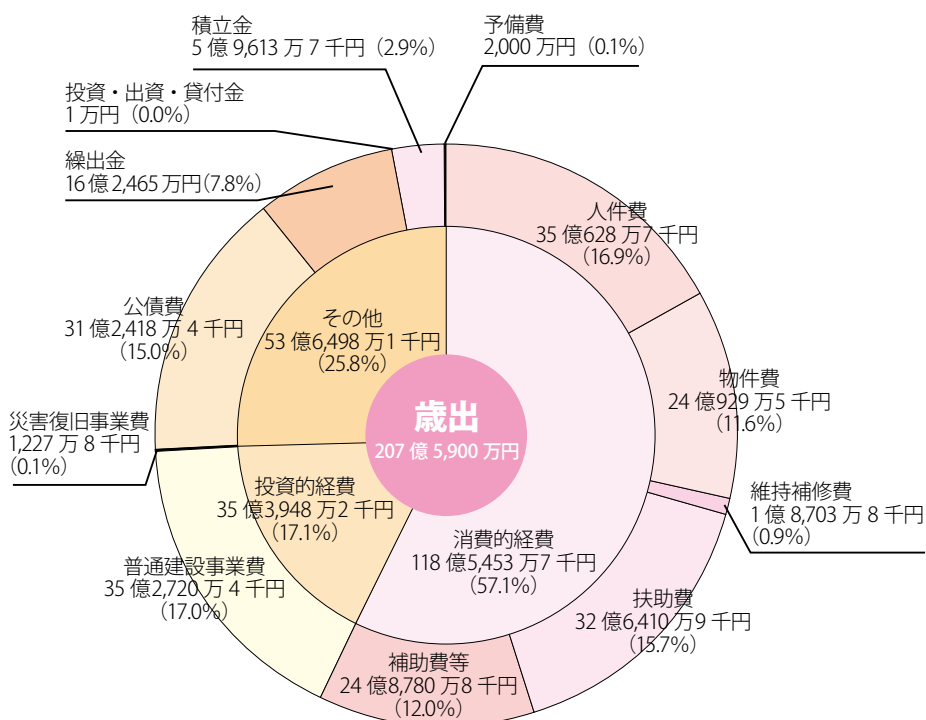
国民健康保険会計や介護保険会計等への繰出金

積立金

各種事業をするための貯金

維持補修費

施設や道路などの修繕費など



会 計		予 算 額
一 般 会 計		207億5,900万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	60億9,804万3千円
	老 人 保 健	162万6千円
	後 期 高 齢 者 医 療	4億9,170万2千円
	介 護 保 険	43億7,945万円
	公 共 下 水 道 事 業	3億8,515万8千円
	生 活 排 水 処 理 事 業	1億1,826万3千円
水 道 事 業 会 計		8億5,373万5千円
合 計		330億8,697万7千円

厳しい財政状況の中で施策の実現に向けて事務事業を実施することから、従来の発想から脱却し、これまで以上に徹底したコスト削減意識を持って事業に取り組み、限られた財源を効果的に活用し、“最少の経費で最大の効果”が達成できる予算となるよう編成しました。

35億628万7千円、物件費が24億929万5千円、扶助費が32億6410万9千円、普通建設事業費が35億2720万4千円、公債費が31億2418万4千円となりました。